

『おつきさまがふたつあるよ』 3歳児 9月 神功こども園



エピソード

5歳児からお月見パーティーの招待状をもらったり、クラスでお月見の絵本を読んだりしてきたことで十五夜の日には、「お月様、まるかったよ」「明るいお月様だった」と実際に見た月の話をたくさんするなど、月に興味を持つ子がたくさんいました。

朝、園庭に出たA児は「先生、朝だけどお月様が見えるねん」と空を見上げながら嬉しそうに保育者に伝えました。B児やC児も「お月様、小さくなってるよ」「お空が食べたんじゃない？」と話し、A児は「そうだ！だからちっちゃくなってるんだよ」と空を見上げたまま答える姿がありました。

その会話を聞いていたD児は近くにあった平均台に登り、「お月様、ちっちゃいなあ〜」とつぶやき、平均台から降り違う場所へ移動し、「先生見て！お月様がふたつあるねん」と、驚いた表情で保育者を呼びに来ました。保育者が「どこにあるの？」と聞くと、「こっち、こっち。来てみて」と興奮した様子で保育者をその場に連れていき、保育者が「さっきのお月様と違うの？」と聞くと、「違うんだよ。だってこっちが大きいもん」と思ったことを伝えていました。保育者が共感すると「お月様ふたつやね〜」と、嬉しそうに保育者や周りにいた友達に伝える姿が見られました。

子どもの育ちや学び

- ・月などの自然現象に興味を持ち、実際に月を見ながら、気付いたことや思ったことを自分なりに言葉にして相手に伝えようとする姿が増えてきました。
- ・見る場所によって違う月の見え方に気付き、さらに月に興味を持つようになり、たまに空を見上げて月の話をしてくれるようになりました。

家庭だったら・・・

- ・登降園時に、空の様子を子どもたちと一緒に見てみてください。子どもたちならではのおもしろい発見がたくさんあるかもしれません！

保育者の思い

- ・お月見の絵本や異年齢で実施したお月見パーティーから月などの自然現象に興味を持ち始めていました。それぞれの気付きを大切にしながら、興味や関心を持てるようにしていきたいと思っています。
- ・「月がふたつある」←本当は1つなのに2つあることに驚いたのか…
そもそも月はたくさんあるものと思っているのか…
- ・子どもたちの気付きや発見を大切にしたいと思い、見守りながら子どもたちから出る言葉に共感するようにしていました。